





# '99 都市ビル環境の日

10月4日「都市ビル環境の日」設定趣旨

## コミュニティの快適な環境創造をめざして

林立するビル、縦横に走る高道道路、地下を走る公共鉄道。都市のイメージは巨大な構造物で固らがちです。しかし、その都市のなかでは日々仕事に汗を流し、管々と生活を続けている多くの人々がいることを忘れてはなりません。人間の生命活動から考えるならば、都市は人々が交流するコミュニティと捉えることができます。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。ビルで営まれるさまざまなコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全で衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。

したがって私たちは、コミュニティの結びつきで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心で

はいられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境はバランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住み易い街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

福岡県は、福岡市と北九州市の百万都市を抱えながらも、幸い自然と身近に接する環境を有しています。私たちは、その自然と融合できる都市環境を築き上げていかなければなりません。

私たち社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事都市との強い結びつきのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、県民に都市の環境づくりをアピールしていきます。

## 本年度のテーマ 「ビルクリーニングと水の係わり」

第5回目を迎える本年度の「都市ビル環境の日」シンポジウムでは、私たちビルメンテナンス業の主要業務であるビルクリーニングとそれに係わる水問題について考えます。

第2回では、典型的な湯水都市である福岡市を舞台として、都市ビルにおける「節水」と「衛生的給水」をテーマにシンポジウムを展開しましたが、その砂漠都市が今年の梅雨には未曾有の豪雨に襲われ、都心の地下街は甚大な損失を被りました。都市生活者は、改めて給水の難しさを痛感させられた次第です。

その都市機能の衛生的環境保全にあたっては、ビルメンテナンス従事者の懸命な復旧作業があったことは言うまでもありません。

このように、都市ビルにおける環境衛生の維持管理に主体的に携わっているビルメンテナンス業でありますから、建築物内の汚染物質の除去作業（＝ビルクリーニング）を行う過程で同時に発生する洗浄水の処理にも責任をもって対処していかなければなりません。

ビルクリーニングに使用する洗剤類は、無リン化

などメーカーの研究開発により無公害化を具現してきましたが、ビル内末端の廃棄段階まで適正な処理方法が実施されているかは疑問の残るところです。

そしてまた、地球規模の環境保全が無視され、関心を集めているなか、ビルの機能維持に關与する水循環問題も決して小さなものとは言えなくなってきました。ビル廃液までもが水循環資源として再利用されていることが求められ始めたのです。このことは、いまやビルクリーニング業者が、単に建築物内の美観や衛生の維持にとどまらず、広く外部環境との「調和」に重要な結びつきをもったことを意味しています。

この10年間、私たちはビルクリーニングにおけるドライメンテナンス方式の導入など、汚水発生をできるだけ抑える方法を模索してきましたが、さらに都市生活の要請に応え役立ちよう、認識を深め、研鑽を積み重ねていこうと考えます。

本年度のシンポジウムでは、ビル内の限られた排水管理問題から、広く公共水域へのビルメンテナンス従事者の環境視野の拡大をめざします。

## Message from President

### '99「都市ビル環境の日」 行事の開催にあたって

本日、第5回「都市ビル環境の日」を開催するにあたり、多大なご支援ご指導を賜りました福岡県、並びに関係行政機関、関係団体及び関係各位に衷心より感謝お礼を申し上げます。また、本行事の企画・運営に当たられている福岡県ビルメンテナンス協会各位に對しまして、深く感謝を申し上げます。

県協会は「都市ビル環境の日」を定めて以来、「快適な環境」「水の危機管理」「ビル廃棄物」「ビル廃棄物II」と毎回テーマを設定し、基調講演、パネルディスカッション、研究発表会と積極的に都市ビル環境問題に取り組んでまいりました。本年は「水」に関する諸問題の中から、「ビルクリーニングと水の係わり」をテーマに取り上げました。

「水」の問題は資源的見地からみれば、人口の増加と生活様式の変革、工業の発展、都市肥大化により、工業用水・生活用水等の使用量は倍増の一途をたどり、慢性化した水不足は深刻な問題となっています。勿論、官民一体となって節水、排水の再利用、海水の淡水化、雨水・湧水の活用等に幅広く取り組まれているが、水資源の安定的確保には至っておらず、この問題はビル環境管理に携わる我々業界にも深く係わりのある重要な課題であります。

ご存知のとおり、ビル内の水の用途は、通常の生活用水及び設備関係、衛生関係、飲食関係、医療関係、防災関係、ビルクリーニング関係、植栽・散水関係等々多岐にわたっていますが、今回はこれ等の「ビルと水」の係わりの中から標榜のテーマを選び、広く学習研鑽していきたいと思っております。

近年、各地区で急速に普及・導入されている「ドライ方式



(社)福岡県ビルメンテナンス協会 会長  
金子 一之

による床面管理」のメリットについてみますと、従来、短周期で定期的に行われていた床面洗浄にドライ方式を導入することにより、洗浄水の大規模削減と同時に、洗浄排水の削減による環境保全はもとより、本来あるべき床材の美観を保持しながら、かつ洗浄周期を格段に延ばすことにより上下水道経費の節減をもたらしています。また、業界の労働災害事故原因で発生比率の高い床面洗浄時の滑り転倒事故の削減とともに、洗浄作業の労働負担を軽減し、労働安全衛生の面からも労働環境・健康管理の改善にも寄与しています。

「ビルと水・水の管理」の問題に関しては、第2回の「水の危機管理」、今回の「ビルクリーニングと水の係わり」以外にも懸案課題は山積しています。我々県協会会員一同、今後とも引き続き実務レベルでの問題を提起し、各関係機関・関係団体と一丸となり、改善・解決へ努力・研鑽を重ね、「安全で快適・利便、環境に優しい都市」造りの先鋒にならねばと、県協会長としての重責を痛感いたしております。

最後になりましたが、今後とも「都市ビル環境の日」の趣旨をご理解いただき、関係各位のご協力を切にお願い申し







福岡県知事  
麻生 渡

21世紀を切り拓く  
ビルメンテナンス業界の活躍に  
期待します

今年で第5回を迎えた「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれは、昭和54年の協会設立以来、建築物のより良い衛生環境や安全性の確保をめざして、関係者の指導、育成などに積極的に関与してこられました。また、平成7年からは全国に先駆けて「都市ビル環境の日」を設定され、都市を中心としたビル環境への新たな取り組みも展開されています。ここに貴協会の様々な活動に対して、深く敬意を表します。

近年、建築物は大規模化、複合用途化の一途をたどり、さらには新たな機器・設備が導入されるなど、飛躍的な発展を遂げています。一方、社会全般においては地球規模での環境保全の課題が指摘されるなど、ビルメンテナンス業は従来の維持管理の視点を超えた環境管理の観点が求められる時代になってきました。

このようななか、今回の記念行事がビルクリーニングにおける水処理の課題を主要なテーマとして開催されますことは、大変意義のあることだと考えます。

皆様には、今回のシンポジウムによる成果を生かし、趣向の姿勢で21世紀を切り拓くビルメンテナンス業として大きく前進されますよう期待いたします。

県では引き続き、「安全で快適な生活環境づくり」をめざした施策を積極的に進めてまいりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



福岡市長  
山崎 広太郎

時宜に合ったテーマに  
心からご賛同を申し上げ、  
成果に期待します

第5回「都市ビル環境の日」の式典が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会の皆様には、日頃から本市の環境衛生行政の推進に多大のご厚力をいただき、また、今年の臨海における集中豪雨の際にも、甚々ならぬご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、近年の生活環境や生活様式の変化に伴うニーズの多様化とあいまって、身近なごみ減量の問題から温暖化などの地球規模の問題等、様々な環境問題に対する社会的関心はますます高まっております。

このような状況のなか、ビルの衛生的環境の維持管理を行ううえで、環境問題も視野に入れた「ビルクリーニングと水の係わり」という今回のテーマはとても意味深いものがあり、心からご賛同を申し上げますところでございます。

福岡市におきましては、身近な生活環境などを重視し、すべての市民が地域社会において、安心して生活できるまちづくりをめざしております。

このような意味から、市民が安心して豊かな社会生活を営むうえで、一歩の大事を過ごす建築物の安全で衛生的な環境の確保は、さらに重要なものになっており、今後とも貴協会の皆様のご厚意とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会のご発展と会員の皆様のご健康を心からお祈りいたします。



北九州市長  
末吉 興一

地域の環境衛生のために  
日頃からご尽力されている業界の  
皆様へ、深く敬意を表します

「都市ビル環境の日」の記念式典が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

近年のビルは、大規模化、複合化が一層進み、その安全性や快適性を維持していくには、以前にも増して高度な知識と技術を必要としています。そのようななか、建築物の維持管理を通じて、地域の環境衛生のために日頃からご尽力されているビルメンテナンス業界の皆様へ、深く敬意を表します。

本市ではここ数年、「メアードーム」や「アジア太平洋インポートマート」など、大規模建築物を建設し、さらに2001年には「北九州博覧会2001」を開催する予定で、市のイメージづくりにも積極的に取り組んでいます。大規模な建築物は、力を入れている都市景観の整備にとって重要な要素であります。また、清潔で美しいビルは、その街にとっての顔であり、そのイメージを印象づける大切な要因でもあります。この建築物の景観を保つ重要な役割の一端を担うのが、ビルメンテナンス業の主要業務の一つであるビルクリーニングだと考えています。これは極めて専門性が高く、また、幅の広い業務であり、ビルの清潔保持だけでなく、安全性や快適性とも密接に係わっています。今年の集中豪雨では、各地でビルや地下街が浸水による甚大な被害を受けました。その原因としてビルクリーニング業者にかかわる多くの方々にご活躍いただき、感謝いたしております。

本市では環境問題への積極的な取り組みが進んでおり、ビルクリーニングに伴う大量の排水処理やリサイクルなどにも関心が寄せられています。

こうしたなか、業界の関係者が一堂に会され、「ビルクリーニングと水の係わり」というテーマでシンポジウムが開催されますことは、大変意義深いものと思っております。

皆様には、シンポジウムの成果を十分に活かしていただき、ビルメンテナンスをはじめ、快適な都市環境の維持、発展に向けて大きく前進されますことを期待しています。

(社)福岡県ビルメンテナンス協会のご発展と、会員皆様のご健康、ご活躍をお祈りいたします。



(社)全国ビルメンテナンス協会 会長  
梶野 善治

環境産業としての  
ビルメンテナンス業に  
一層の貢献を

5日を迎える貴協会主催の「都市ビル環境の日」の行事が、ますます内容豊かに、ますます盛大に開催されることに対し、衷心よりお喜び申し上げますとともに、会長はじめ役員、会員各員のご尽力に深く敬意を表する次第です。

「都市の中にビルがあり、ビルの外に都市がある」ということは、取り立てて言う必要もない当たり前のことですが、この言葉に「環境」を添え、狭めて重大な意味を持ちはじめ、その意味は大きな広がりを感じていくように感じさせられます。貴協会におけるその発展と貢献に、大いに敬意を寄せられております。

私たちはユーザー（ビル管理業務発注者）様の要請に応えて、快適なビル環境を整え、多くの人々に働く場や生活する場を提供しているのですが、都市という視点から見たとき、ビルの環境維持が必ずしも都市の環境維持に一致するとは限らないわけがございます。この問題は、さらに都市と地球の環境問題へと発展していく性格を持っております。

貴協会はこれまで「都市ビル環境の日」において、給水の削減や廃棄物の削減をテーマとして取り上げ、都市環境とビル環境の間に距離を縮めるために、私たちは何をなすべきなのか、真剣に議論を深められてこられました。そして、今回は「資源循環型社会」への社会的要請を念慮しながら、環境衛生を標榜する私たちが環境を破壊することのないよう、ビルクリーニングによる汚水・排水の管理をテーマに取り上げられたことは、まさに時宜を得た企画ではないかと存じます。

環境への配慮のない企業・業界は、これから社会的な信用を得られないと言われております。「グリーンアップ福岡」による業界アピールとともに、「都市ビル環境の日」がますます盛大に執り行われ、社会的関心を大いに高められることをお祈りいたします。



# '99 都市ビル環境の日

## 行事プログラム

開催日時：平成11年10月4日（月）13：30～16：30  
開催場所：NTT夢天神ホール（岩田屋Z-side 7F）

## シンポジウム

テーマ「ビルクリーニングと水の係わり」

13：30	開会挨拶	(社)福岡ビルメンテナンス協会 会長	金子 一之
13：40	来賓挨拶	福岡府知事 福岡市長 北九州市長	麻生 健 山崎広太郎 末吉 興一
14：10	基調講演	(社)全国ビルメンテナンス協会 会長 福岡県中小企業家同友会 理事 地球環境問題委員会 委員長	梶野 善治 柴田 英俊
15：10	環境問題に関する意識調査結果発表		青年部
(休憩)			
15：30	パネルディスカッション		
16：30	閉 会		

## 基調講演

演題

「地球無くては企業  
経営は成り立たない」



福岡県中小企業家同友会 理事  
地球環境問題委員会 委員長

柴田 英俊

### Profile

1959年生まれ、福岡県出身。  
1981年日本体育大学卒業。  
1988年有限会社アメンゴを  
設立。九州最大のカー・ショッ  
プとしてカー・売上・カース  
クル受注額日本一となる。  
1994年より「オン」誌編集  
局を開設。1995年には世界  
連合会に出席、積極活動を開  
始める。1997年、福岡県中小  
企業家同友会内に地球環境問  
題委員会を設立。「オン」誌編  
集の現状・海外展開・各国の  
海外展開」にて全国で講演。  
1998年、福岡県外務教育フ  
ォーラムに参加（オーストラ  
リア）。1999年海外教育研究  
所を創設。同年5月「オン」  
誌9月号「フォーラム」を創刊。  
現在、年約100回程度の講演  
をこなしている。

## パネルディスカッション

コーディネーター

(株)新ビルのメンテナンス  
代表取締役社長  
金子 誠



Profile

昭和27年生まれ。早稲田大学卒業。  
[財]建築労働問題センター九州支部事務局長  
(社)福岡ビルメンテナンス協会青年部顧問  
(社)全国ビルメンテナンス協会Bネットワーク  
ワーキンググループ事務局長

パネリスト

(株)電装ビル 技術部  
総務課長  
田平 晃雄



Profile

昭和13年生まれ。鹿児島県立鹿児島工業高校卒業。  
九州電力(株)土木部総務課を経て、岩田  
ビル建設関係業務に従事。

(株)アサヒファシリティ  
マネジメント 九州支店  
技術部長  
江藤 住義



Profile

昭和17年生まれ。厚狭工業高校卒業。昭和38  
年(株)物中工務店入社。大阪本店へ異動。昭  
和37年東京支店へ異動。昭和49年九州支店に  
転出。作業部長、福岡県労センター所長、技術  
部長などを経て、平成11年3月より現職。

筑業工業(株)  
取締役営業部長  
奥村 晃博



Profile

昭和13年生まれ。鹿児島高等学校卒業。  
昭和50年より一般労働者として建築業、建築業  
者協会副会長、中水防汚施設整備員、排水管  
高圧洗浄工事、汚水掘・敷・修・築工事など  
関係業務、下水道管線維持管理業務に従事。

大和興業(株)  
営業部長  
古賀 修



Profile

昭和28年生まれ。早稲田大学卒業。  
[財]福岡ビルメンテナンス協会理事・事務局長  
[財]建築労働問題センター中央支部 地区指導  
顧問  
(社)全国ビルメンテナンス協会中央顧問



## 平成11年度 第5回「クリーンアップ福岡」に向けて ～新しいユニホームでイメージアップ～

第5回目を迎えた「クリーンアップ福岡」では、協会員160社24,000人を数える従事者全員の意欲の発露と、地域の方々へのアピールをより効果的にするため、クリーンアップ専用のユニホームを新調しました。参加者全員が新しいユニホームを着用し、「都市ビル環境の日」の一環である「クリーンアップ福岡」の新たな展開をめざす覚悟込みをもって、すべての福岡県民に私たちの磨き抜かれた技術を遺憾なく発揮致します。

### 第4回「クリーンアップ福岡」 スナップショット



## 福岡地区

責任者  
松本 正司 [(株)加西会]

クリーンアップ福岡も今年で5回目を迎えますが、今年には福岡と博多を結ぶ鉄道線の福博間であい機と中州懸架及び両橋の中州側歩道のゴミ除去・床洗浄を重点的に実施。併せて集合・解散予定場所である、天神中央公園の清掃を予定しています。心より会員皆様のご参加とお力添えをお願い申し上げます。

## 北九州地区

責任者  
藤田 敏也 [(株)富士美社]

「都市ビル環境の日」も5日目を迎え、各協会会員皆様の積極的なご参加により実施しております「クリーンアップ福岡」を、本年度、私たち北九州地区では、平成8年度に行い、マスコミヤ市民の方々にビルメンテナンス業の仕事を理解していただくよい機会となりました。妻川に架かる「太陽の橋」の洗浄作業を再度計画致しました。

この「クリーンアップ福岡」という継続的の清掃責任を担い、プロフェッショナルとしての我々の技術力をアピールすることが、私たちに業界の必要性、また、イメージアップに資していると確信しています。

## 筑豊地区 筑前・筑後地区

筑豊地区責任者  
大塚 明人 [(三栄ビル管理(株))]

筑前・筑後地区責任者  
水口 幹朗 [(株)クリーン協会]

今日まで多くの方々のお力添えをいただき、「クリーンアップ福岡」も5回目を迎えることができました。

この運動は早なる社会奉仕だけではなく、ビル現場と都市環境とのつながりをアピールし、ビルメンテナンス業の役割を認知してもらうことから始まりました。この運動を通じて流した汗は、ただ草に参加したということだけではなく、地域社会の一員として共に働く喜びと、そして自分たちの共通認識や存在意義を感じているのではないのでしょうか。

今年もまた「いっしょ」を流しましょう！  
我々の地区は広範囲にわたっておりますが、地区内の主要都市(飯塚市、田川市、行橋市、久留米市、大牟田市、甘木市など)の公共施設を中心に、プロとしての清掃の真髄を披露して、業界のアピールに努めます。

各エリアの取り組み